

平成 3 1 年度入試合格状況

	国立大学	公立大学	私立大学
新卒	41	16	233
旧卒	0	0	10
	41	16	243

主な合格校 (過去 5 年間)

国立大	公立大	私立大
北海道大	千歳科学技術大	足利大
東北大	青森公立大	国際医療福祉大
山形大	秋田県立大	自治医大
福島大	秋田公立美大	獨協医大
茨城大	国際教養大	白鷗大
筑波大	会津大	高崎健康福祉大
宇都宮大	前橋工科大	獨協大
群馬大	群馬健康科学大	文教大
埼玉大	群馬県立女子大	共栄大
千葉大	高崎経済大	青山学院大
東京大	埼玉県立大	学習院大
一橋大	首都大学東京	慶応義塾大
東京外大	横浜国立大	国学院大
東京学芸大	新潟県立大	国際基督教大
東京工科大	新潟県立大	駒澤大
お茶の水女子大	駒沢大学理工大	実践女子大
横浜国立大	都留文科大	芝浦工大
新潟大	山梨県立大	順天堂大
金沢大	静岡文化芸大	上智大
信州大	京都府立大	昭和女子大
名古屋大	尾道市立大	昭和薬科大
大阪大		女子栄養大
		日本体育大



職員室前質問コーナー



穿石館 (自習室)

努力は必ず報われる



ラグビー部賞状授与



栃木県立佐野高等学校

〒327-0847 栃木県佐野市天神町761番地の1
TEL 0283-23-0161 FAX 0283-21-1301
URL <http://www.tochigi-edu.ed.jp/sano/nc2/>



2020

佐高

文部科学省 SGH指定校 (スーパーグローバルハイスクール)



学校案内



校内風景

沿革

佐野高等学校は、明治34年(1901年)に、栃木県第四中学校として開校し、今年創立118年になる伝統校です。その間、豊かな学校文化と良き伝統に育まれ、各界において指導的な役割を担う人材を多数輩出してきました。

平成20年度に附属中学校を併設し、中高一貫教育校として新たな歴史を刻みはじめました。平成23年度からは女子が入学し、男女共学の普通科高校になりました。

平成28年度、文科省からSGH(スーパーグローバルハイスクール)の指定を受け、問題解決力やコミュニケーション能力を備えた、国際社会で活躍できるリーダーの育成に取り組んでいます。

校訓

自主独立
進取創造
和親敬愛

教育目標

自他の生命と人権を尊重し、正義と平和を愛する心をもった、
国際人として活躍できる真のリーダーの育成

目指す学校像

課題発見・課題解決型の教育を推進することにより、グローバル社会で活躍できるリーダーを育成する学校
個に応じたきめ細かな指導や習熟度学習等を推進することにより、豊かな教養を身に付け、確かな学力を育成する学校
様々な体験活動や学校行事等を通して、豊かな人間性を育む学校

本校の求める生徒像

本校の教育目標と目指す学校像を理解し、高い志をもって学業に励む生徒
本校の教育目標と目指す学校像を理解し、特別活動、スポーツ・文化活動等に意欲をもって取り組む生徒



旭城大運動会応援風景

進路別コース編成
進路希望と適性を考えて選ぶ4コース、少人数によるきめ細かな授業

1 学年	2 学年	3 学年
共通	文系コース	文Ⅰコース（国公立文系） 国8 地歴公民10 数5 理2 英6 ※
	国語6 地歴8 理科3 ※	文Ⅱコース（私立文系） 国10 地歴公民10 芸・英3 英8 ※
	理系コース	理Ⅰコース（国公立理系） 国4 地歴公民3 数8 理10 英6 ※
	国語5 地歴5 理科7 ※	理Ⅱコース（私理・医療看護系） 国3 数8 理10 英7 芸・フードデザイン+理3 ※

※コースによって授業時間が変わる教科、科目のみ記載してあります。

教育課程表

教科・科目		学 年		1 年	2 年		3 年			
					文系	理系	文Ⅰ	文Ⅱ	理Ⅰ	理Ⅱ
国 語	国語総合	4	3	5						
	国語表現	3								
	現代文A	4	4		3	2	4	4	2	3
	現代文B	2	4			3	4	4		
地理 歴史	世界史A	2	2			2				
	世界史B	4	4							
	日本史A	2	4		4					
	日本史B	4	2							
公 民	地理総合	4	2			3				
	世界史特論	2	4				△5	△5		
	地理特論	2	2				△5	△5		
	現代社会	2	2	2					3	
数 学	倫理・経済学	2	2				△2	△2		
	数学Ⅰ	3	4							
	数学Ⅱ	4			4	4				
	数学Ⅲ	5	1						★8	★8
	数学Ⅳ	2	2	2	2					
	数学Ⅴ	2					5			
	数学Ⅵ								★5	★5
	数学Ⅶ									
	数学Ⅷ									
	数学Ⅸ									
理 科	科学と人間生活	2	2	2						
	物理基礎	4	2	2						
	化学基礎	2	2	2	◇3	2			◇5	◇5
	生物基礎	2	2	2	2				5	5
	生物基礎	4								
	生物研究			1					◇5	◇5
	科学特論						2			
	科学特論									☆1
	科学特論									
	科学特論									
保健 体育	体育	7～8	3	2	2	2	2	2	2	2
	保健	2	1	1	1					
芸 術	音楽Ⅰ	2	※2							
	美術Ⅰ	2	※2							
	音楽Ⅱ	2								
	美術Ⅱ	2					□3	□3		☆3
外 国 語	音楽Ⅲ	2								☆3
	音楽Ⅳ	2								
	コミュニケーション英語Ⅰ	2								
	コミュニケーション英語Ⅱ	3	4		4	4				
	コミュニケーション英語Ⅲ	4					4	4	4	4
	英語表現Ⅰ	2	2							
	英語表現Ⅱ	4		2	2	2	4	2	3	
	英語表現Ⅲ	2								
	英語表現Ⅳ	2								
	英語表現Ⅴ	2								
家 庭 科	英語表現Ⅵ	2								
	英語表現Ⅶ	2								
	英語表現Ⅷ	2								
	英語表現Ⅷ	2								
情 報 科	生活デザイン	4	4							
	フードデザイン	2	2							
	社会と情報	2	2							☆2
	情報科学	2	2							
C I P G	情報科学	1	1	1	1					
	総合的な学習の時間	3～6	1	1	1	1	1	1	1	1
単 位 合 計			35	35	35	35	35	35	35	35



授業風景1



授業風景2

主な年間行事



旭城大運動会

生徒会役員選挙
クラスマッチ(3年)
終業式
SGHフィールドワーク
旭城祭(学校祭)
生徒会役員認証式



旭城祭



マラソン・ウォーキング大会

修学旅行(高2)
中間試験
芸術鑑賞会

マラソン・ウォーキング大会
期末試験
SGH成果発表会(高1)(高2)
クラスマッチ(高1) 終業式

SGH課題研究発表コンテスト
学年末試験

卒業式
海外グローバル研修(カナダ)
クラスマッチ(高2) 修業式



修学旅行台湾



吹奏楽部定期演奏会

学校行事

中高合同入学式 始業式
部集会
SGHキックオフ講演会
新体力テスト 生徒総会

創立記念式
中間試験

旭城大運動会
期末試験

進路関係行事

学習ガイダンス(高1)
課題テスト(高1)(高2)
スタディサポート(高2)

校内模試(高3) 実力テスト(高2)
大学入試説明会

進研マーク模試(高3)
全統記述模試(高2希望者)
GTEC検定(高3)
進研記述模試(高1)(高2)(高3)

前期課外

オープンキャンパス見学(高1)(高2)(中3希望者)
後期課外
全統記述模試(高1)(高2)(高3)
課題テスト(高1)(高2)

校内模試(高3)
進研マーク模試(高3)
実力テスト(高1)

進研記述模試(高3)
全統記述模試(高3)

進研マーク模試(高3) 進研記述模試(高1)(高2)

全統マーク模試(高3)
GTEC検定(高1)(高2)

大学入試センター試験
特別時間割(高3)
進研記述模試(高1)(高2)
実力テスト(高1)(高2)
特別指導(高3)

進研マーク模試(高2)

受験報告会



男子バスケットボール部

旭城大運動会部活動対抗リレー

茶道部

生徒会による募金活動

野球部

剣道部

文武両道をめざす

部活動

運動部

陸上競技
ラグビー
男子バスケットボール
卓球
剣道
野球
水泳
ボート
サッカー
女子バレーボール
女子テニス
男子テニス

最近の主な成績

インターハイ出場

陸上競技部
水泳部
ボート部
女子テニス部

全国大会出場

囲碁将棋部
科学部
SGHクラブディベート班



陸上競技部

下野新聞社提供

文化部

吹奏楽
美術
囲碁将棋
軽音楽
科学
手芸
茶道



女子テニス部



ボート部



ラグビー部



囲碁将棋部

同好会

天文
パソコン

SGHの取り組み

SGHが必要とされる理由は？



ディベート

社会は答えがわからないことであふれています。
なぜテストや入試があるのでしょうか。
基礎知識が定着しているか確認するためです。
基礎知識だけで、社会を変えられるでしょうか。
世界には様々な問題が山積しています。
学校では基本的に既に答えがあることを中心に学んでいます。
本当にそれだけでいいのでしょうか。
だからSGHの取り組みがあります。
SGHが大切な理由は？
答えが見つからないことを考える学習だからです。
仲間と一緒に自分のペースで学べて、協働でひとつのことを
なしとげる体験ができるからです。

小松俊明東京海洋大学教授
SGHオープニング講演から

課題を発見し向き合う力
論理的・批判的に思考する力
協働して課題を解決する力
情報を発信する力
英語で伝える力
グローバル社会に貢献する高い志とチャレンジ精神



SGH地域リーダーズシンポジウム



SGHクラブフィールドワーク(福島)